

図書館だより

NO. 209 2015年10月号
(2015年10月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

大人のためのストーリーテリング申込み受付中

「ストーリーテリング」とは、語り手（ストーリーテラー）が、昔話や創作の物語を語り聞かせるおはなし会のことです。

絵本を使ったおはなし会とは違って、聞き手のみなさんは語り手が語るおはなしの世界を、頭の中に思い描いて楽しむのがストーリーテリングの魅力です。この機会にぜひご参加ください。

日時 11月7日（土）
14時～15時30分
場所 さくらびありハーサル室
対象 中学生以上
定員 40人（先着順）

「虔十公園林」（創作：宮沢賢治）、「三つのねがい」（日本の昔話）、「くぎスープ」（スウェーデンの昔話）など、多彩で楽しいおはなしを準備しています。

申込方法

はつかいち市民図書館へ直接、または電話で。
はつかいち市民図書館 TEL (0829) 20-0333

今月の展示



《中央展示》

『〇〇の秋.. がたくさん ～見つけようとおきの1冊～』

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、紅葉の秋、運動会の秋、文化祭の秋…
色々な「秋」の資料を集めて展示しています。

※職場体験に来た中学生が準備しました。



《さくらびあ展示》 『コンサートの秋』

10月上旬、さくらびあでは「はつかいち音楽祭」が開かれ、サクソフット、三味線などの様々なコンサートが催されます。

この音楽祭にちなんで、コンサートや楽器を楽しむ資料を集めました。

《企画展示》 『読書会で読んだ本』

さつき読書会は、今年で8年目を迎える大人のための読書グループです。読み語った本は100冊を超えました。

読書の秋、これまで「さつき読書会」で読まれた本を読んでみませんか？



展示期間：9月25日（金）～10月21日（水）

子ども司書養成講座「秋の活動」が始まりました

「子ども司書養成講座」の2回目の全体研修を、9月5日（土）はつかいち市民図書館で行いました。



絵本の読み聞かせを
習っています



読書好きを増やすには
どうすればいいか、話し
合っています

ポップを作って
います



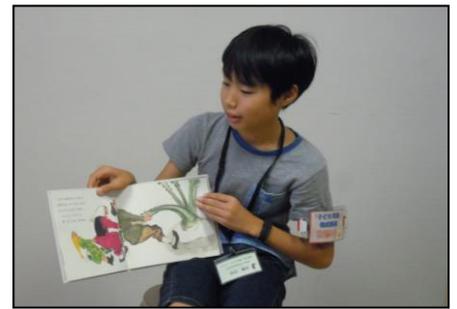
2つのグループに分
かれて話し合った内
容を、発表しました



今回「仮認定証」をもらった子ども司書たちは、これから学校や地域の図書館で「秋の活動」を行います。他の子どもたちに読み聞かせをしたり、おすすめの本を友達に紹介したり、図書館の掲示物やコーナーを工夫するなど、様々な活動を行っていく予定です。



9月26日（土）
のおはなし会では、
子ども司書の2人が、
絵本の読み聞かせを
行いました。



*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『子どもと本をつなぐ橋』 田島多恵子／著 東京図書出版 019.5/タ (児研)
- 『「めんどくさい」がなくなる本』 鶴田豊和／著 フォレスト出版 159/ツ
- 『青春18きっぷパーフェクトガイド』2015-2016 谷崎竜／著 イカロス出版 291.0/セ
- 『ヒトはこうして増えてきた』 大塚柳太郎／著 新潮社 334.2/オ
- 『ゆるめる力 骨ストレッチ』 松村卓／著 文藝春秋 498.3/マ
- 『子どもの手作り仮装コスチューム』 あんどうまゆこ／著 誠文堂新光社 593.3/7
- 『JR 普通列車年間』2015-2016 イカロス出版 686.2/シ
- 『写真が上手くなる100のルール』 学研パブリッシング 学研マーケティング (発売) 743/シ
- 『「英語を話せる人」と「挫折する人」の習慣』 西真理子／著 明日香出版社 830.7/ニ
- 『まにまに』 西加奈子／著 KADOKAWA 914.6/ニ
- 『夏の沈黙』 ルネ・ナイト／著 東京創元社 933/ナ
- 『岳飛伝』14 北方謙三／著 集英社 F/キ





新刊

ことものほん

『にっぽんのおにぎり』

～写真絵本おにぎり風土記～

白央篤司/著 理論社 383/ハ

約2千年前の化石が発見されたり、『さるかに合戦』などの昔話にも出てくるほど、日本人にとっておにぎりはとても身近な食べものです。おにぎりの具の代表格、鮭は漁獲量の8割を占める北海道のおにぎり。とろろ昆布は、1年間で昆布を購入する額が全国1位の富山県のおにぎり。季節の野菜を具にした郷土料理「おこわ」は、鳥取県のおにぎり、などなど。47都道府県で愛されているおにぎり、その土地の食べものでアレンジしたおにぎりを、具材の由来などの解説とともに、写真で紹介しています。

『月夜とめがね』

小川未明/作 高橋和枝/絵 あすなろ書房 E/ク

月のきれいな晩のこと。おばあさんが針仕事をしていると、戸をコトコトとたたく音がしました。めがね売りが訪ねてきたのです。「なんでもよく見えること請け合いです」というめがねを買おうと、めがね売りはあっという間に姿を消してしまいました。しばらくするとまたトントンと音がして、十二、三の年頃の美しい女の子が戸口に立っていました。指にけがをしてしまったというのです。おばあさんが薬をつけてあげようとめがねをかけると、女の子が違う姿に見えて…。

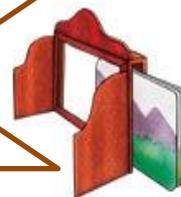
不思議な夜のおはなしを柔らかな色彩で描いた絵本です。

その他の新刊

『広島の木に会いに行く』石田優子/著 偕成社 653/イ (樹木医と被爆樹木を巡り、被爆者の体験を取材したドキュメンタリー映像作家によるノンフィクション。被爆樹木の写真や周辺地図、参考文献などの紹介もあり。)

子どもと本の講座

9月9日(水) 第1回「紙芝居の基本講座」が終了



第1回「紙芝居の基本講座」の様子

講師に、子どもの本専門店「エルマー」代表で、紙芝居文化の会運営委員の前園敦子さんをお迎えして、紙芝居の歴史、絵本との違い、選び方と演じ方をお話していただきました。

同じお話の絵本と紙芝居を実際に読み比べてみると、紙芝居は演じ手と観客との間に共感やコミュニケーションを作り出していることがよくわかり、「紙芝居を読みたいという気持ちになった」という声も多く出ました。

また、詩を読みながら、紙芝居を演じる際の声の調子を考えたり、受講者3名の紙芝居の実演と講師の講評もあり、紙芝居をより身近に感じられる講座となりました。

受講者からは、「紙芝居の楽しさが体験できました」、「紙芝居は地域の人と人、高齢者の方と子どもをつないでくれると思いました」、「共感の世界を作り出すことを楽しみにしたいと思います」等の感想がありました。

今年度の子どもと本の講座は全3回で、2回目以降はわらべうた、読み聞かせについて、それぞれ基本を学ぶ講座を開催します。

すでに申込受付は終了しています。

たくさんのお申し込み、ありがとうございました。



読書会に参加してみませんか？



読書会では1ヶ月に1度、課題となった本を読んで、意見や感想を語り合います。

はつかいち市民図書館で活動している「さつき読書会」は、今年8年目を迎える大人のための読書グループです。(今月の企画展示コーナーでは、これまで読んだ課題図書を展示しています)

興味のある方は見学もできますので、図書館までお問い合わせください。

[実施要領]

- 1、実施日 毎月第3水曜日 9:30~12:00
- 2、場 所 さくらびあ会議室
- 3、テキスト 主には、県立図書館の読書会用テキストを借用する。現代文学・ルポルタージュ・ドキュメンタリー・随筆など。
- 4、形 式 準備された本を1か月前に配布。会員は共通の作品を読み、次の例会でその作品の感想や疑問を出し、話し合う。
- 5、参加費 月額1500円
(3ヶ月ごとにまとめて徴収)
- 6、その他 会への加入・脱退は任意。
※体験参加をおすすめします。
- 7、申込先 はつかいち市民図書館
TEL (0829) 20-0333

“味覚に「五味」あり”と言います。
「甘い」「辛い」「酸っぱい」「苦い」「塩辛い」の五味です。

読書会の「五味」とは

[その1]

自分との対話から生まれる味わい

[その2]

仲間との出会いから生まれる味わい

[その3]

言葉との出会いから生まれる味わい

[その4]

「本の持つ力」との出会いから生まれる
味わい

[その5]

人生を思索することから生まれる味わい



10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 ◎	3
4	5	6	7	8	9	10 ★
11	12	13	14	15	16 ◎	17
18	19	20	21	22 休館	23	24 ★
25	26	27	28	29	30	31

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 10時30分~

2回目 11時~

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年

【時間】11時~

※場所はいずれも図書館会議室です。

★途中からの入室はご遠慮ください★

